

県立玉造工業高等学校自己評価表

【別紙様式2】

<p>目指す 学校像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能、技術を習得させる。 ・ すぐれた個性の伸張と豊かな人間性の育成に努める。 ・ 社会の発展に寄与する産業人の育成を図る。 		
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>重点項目</p>	<p>重点目標</p>	<p>達成状況</p>
<p>・習熟度別(数学)やTT授業(英語)の展開、「少人数授業」等などのきめ細かな指導を実施し、「基礎学力の向上」を目指した。また、SHRで小テストを実施するなど、学習意欲の向上を図った。さらに、「教科担任会」を実施して生徒理解に努めた。しかし、基礎学力向上や家庭学習の習慣化には至らなかった。よって、基礎学力の向上・定着が図れるよう教科指導をさらに充実させる。</p>	<p>分かる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>①生徒の実態に応じ、学習内容を精選して基礎学力の向上を図る。 ②各教科内で研修を充実させ、分かる授業の展開を目指すとともに教科間の連携を図る。 ③朝の学習の時間を通じ、基礎学力の向上を図る。 ④7時間目の内容を充実させ、資格取得者の増加と進学希望者への対応を図る。習熟度別及びTTの授業の充実を図る。</p>	<p>B C B C</p>
<p>・基本的生活習慣の確立を図るために、遅刻の段階的指導や頭髪に関する継続指導等を行っている。また、警察等の関係機関と連携を密にし、事故の未然防止に努めている。しかし、規範意識が欠如している生徒がみられる。よって、さらに「道徳心の育成」と基本的生活習慣の育成に努めることが必要である。</p>	<p>基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。</p>	<p>⑤挨拶の励行や遅刻・早退・欠席の減少に努める。 ⑥頭髪や服装等を正そうとする意識を身につけさせる。 ⑦社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。 ⑧保護者や関係機関との連携を密にとり、生徒の安全確保に努める。 ⑨交通安全教育を推進し、交通安全に対する意識の向上を図る。</p>	<p>C B C B</p>
<p>・進路ガイダンスや企業訪問等の求人開拓、進学課外など、進路に対する意識を高めることにより、進学や就職において好結果を残すことができた。今後はさらにこの取組を充実させる。</p>	<p>望ましい勤労観や職業観の育成に努める。</p>	<p>⑩進路に対する意識の向上を図り、希望進路の実現を図る。 ⑪企業及び大学等の情報を広く収集し、進路選択に役立たせる。</p>	<p>B B</p>
<p>・学校行事においては、地域や保護者等の交流を意識して実施することができ、生徒も十分な達成感を得ることができた。今後は奉仕体験活動を充実させることにより地域との連携をさらに密にする。</p>	<p>学校行事の充実ならびに、部活動及び奉仕体験活動の活性化を図る。</p>	<p>⑫学校行事を通して生徒と保護者や地域との交流を図り、より充実感や達成感のあるものにする。 ⑬部活動加入率を高め、活性化を図る。</p>	<p>C D</p>
<p>・部活動加入率を高めるために工夫改善を図ったが、効果が上がらなかった。よって、さらに検討を重ね部活動の活性化を目指す。</p>	<p>部活動及び奉仕体験活動の活性化を図る。</p>	<p>⑭奉仕体験活動を充実させる。 ⑮生徒の委員会活動を活発にする。</p>	<p>C C</p>
<p>・学校新聞の配付や学校公開により各中学校や保護者、地域への広報活動に努めた。この取組をさらに充実させ、開かれた学校づくりと生徒募集に反映させる。</p>	<p>中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>⑯近隣中学校並びに地域への広報活動を充実させる。 ⑰生徒・保護者及び教職員の信頼関係を深める。 ⑱個人情報の保護、管理の徹底に努める。</p>	<p>B B B</p>

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
	基礎学力(数)の向上	漢字テスト(授業時、定期考査時)を行い漢字力の定着をはかるとともに、丁寧な文字を書かせる指導をする。	① B	

※評価基準 A：十分達成できている、 B：達成できている、 C：概ね達成できている、 D：不十分である、 E：できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題		
教科指導(普通教科)	国語	基礎学力(特に読むこと・書くこと)の向上を図る。	生徒の実態に応じた補助プリントを作成し、教科内で共有する。 ①②	A	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テストが、より有効なものになるように工夫する。 少ない単位数の中での読書指導は難しいが、良書を紹介できるように努める。 基本的な知識(現代社会の用語・国名・都道府県名・地域名など)の定着を図るための手立てを考える必要がある。 複数の教員が連携して課外授業を実施できるように検討する。 習熟度別授業、またはチームティーチングのどちらで実施するのか検討する。 実験の機会を増やし、生徒の学習意欲や興味関心を高める。 生徒の実態に応じた教材の開発に努める。 化学に必要な、基礎計算能力の向上を図る。 集団で行動できる力を身につけることに努める。 集合時間を守らせることに努める。 用具の大切さを伝えることに努める。 積極的な授業参加に努め、体力の向上を図る。 想像力や発想力などの抽象的な力を伸ばすための授業ばかりでなく、基礎的な描く力・見る力の向上を図り、作品を作り終えてから得る達成感を感じられるような作品づくりの助けをする。 習熟度別授業やT・Tの実施方法を見直す。 基本的な文法の確認は効果的であったので継続したい。しかし、テキストや指導の仕方を見直す。 自分の生活や、進路、将来の生活に家庭科で学んだ知識や技術を活かせるようにする。 	
		読書指導を充実させるため、教員同士が情報を交換し合っ、生徒に本の紹介を積極的に行う。	②③	C		
	地理・歴史	基礎学力の向上を図る。	時事問題と政治・経済の領域を関連付けて、基本的な用語の定着に努める。	①		B
			近代史において、地図や日本の歴史を関連付けて理解を図る。	①		B
			地図帳等の資料を活用し、日本ならびに世界の諸地域の地理的環境について理解を図る。	①		A
	数学	基礎学力の向上を図り、応用力をつけさせる。	新入生テストを実施し数学に対する理解度を把握し、学習内容の精選や指導方法の工夫に生かす。また、習熟度別授業のクラス分けに活用する。	①		B
			生徒の学力に応じた班の編成を行い、1・2年生の習熟度別授業の充実を図る。	③		A
			週1回の7時間目を利用して2・3年生の進学希望者の学力向上に努める。	④		B
			指導内容・方法についての打ち合わせを定期的に行い、共通理解を図る。	②		A
	理科	基礎学力、学習意欲の向上を図る。	観察や実験の機会を増やし、生徒の興味・関心を引き出す授業の展開に努める。	①		B
			生徒の実態に応じた実験教材の開発に努める。	①		B
			理科教室の整備を継続的にを行い、より効果的な教材の活用を図る。	①②		A
	保健体育	体力の向上、健康増進を図る。	授業での効果的な補助運動の回数及び適切な種目を考えて指導する。	①		B
			選択制を導入し生徒一人一人の運動時間を確保し体力の向上に努める。	①		B
美術	基礎的な描く力・見る力の向上を図る。	生徒の実態に応じ、取り扱う題材を精選し、基礎的な描く力・見る力の向上を図る。	①	B		
英語	基礎学力の向上を図る。	各学年で基礎的な文法の復習を取り入れることで、基礎学力の定着を図る。	①	C		
		1学年では、習熟度別授業を展開する。	④	B		
		A L T との T ・ T を実施し、外国の人々や文化に対する理解を深める。	④	B		
家庭	社会生活への独立の準備に努める。	自分の身近な生活や、将来のために活かす知識や技術など、基礎学力の向上に努める。 調理実習を通して、身支度や、マナーを身につけて、心身ともに健康的な生活を送るために、栄養バランスを考慮しながら、自分の食生活を改善する。	① ⑥	B B		
教科指導(専門教科・工業)	機械	授業内容の精選を継続的に実施する。	①	B		
		生徒の実態把握に努め、副教材を活用する等授業内容を充実する。	①②④	B		
		資格試験及び講習会についての情報伝達を密にし、効率化と合格率向上を図る。	④	B		
		検定試験等の受験をさせることによる合格への前向きな姿勢を定着させるとともに、高度な資格へ挑戦する心を養い全体のレベルアップを目指す。	③④	B		
	電気	基礎学力の向上、技術・技能の効率的指導、資格取得の指導と奨励を図る。	生徒の実態に合わせた適切な教材の準備及び授業展開、指導方法の工夫改善を図る。	①	B	
			実習の指導方法や内容を検討し、生徒が理解しやすいように実習テキスト・装置の充実を図る。また、実習のレポートをしっかりと書かせ、期日に出す習慣を身に付けさせる。	②	B	
			電気工事士等の学科指導・実技指導を計画的に行う。	①④	A	
	情報技術	基礎学力の向上と、当該科に関する資格指導の向上と技術・技能の効率的指導に努める。	授業内容の精選(基礎学力の向上・効率の良い学習指導)をする。	①②	B	
			技能士「電子機器組立」検定(学科指導と実技指導)に努める。	①④	A	
	シSTEM	基礎学力と資格取得の向上に努める。	授業内容の精選し、効率の良い学習ができるようにする。	①②	B	
FA実習の充実を図るとともに、生徒の現状に合わせ、テキスト・教材等を見直し、充実した授業を目指す。			①②③	B		
危険物取扱者試験において、7時間目や放課後の時間を有効活用した補習計画を実施し、合格率の向上に努める。			④	B		

※評価基準 A：十分達成できている、B：達成できている、C：概ね達成できている、D：不十分である、E：できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教 務	授業時間の確保を図る。	授業の開始(予鈴)及び終了時間を厳守する。	①	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の開始(予鈴)時間に対する生徒の意識の向上を図る。 ・授業力を高めるために、学習指導に関する研修会を検討する。 ・朝読の効果的な実施をするために、司書関係の外部講師招聘を検討する。 ・生徒の全体的な資質の向上を図るため施策の充実をめざす。 ・基礎学力の定着を図るための学習指導の工夫・充実や朝の学習の時間の効果的な指導方法を検討する。 ・奨学金利用者への周知の徹底を早い段階で行う。 ・情報の発信を早めに行う。特に「玉工通信」のWebページへの掲載を早期に行うなどWebページを活用した広報活動の充実を図る。 ・個人情報をはじめとする重要な情報へのセキュリティに配慮しつつ、利用しやすいネットワークの構築を図る。 ・校内ネットワークの管理体制の向上を図る。 ・「学校公開」や「授業公開」等をさらに充実させ、「開かれた学校づくり」を推進する。
		曜日毎の年間授業時間数の調整を学期ごとに行う。	①	C	
	基礎学力の向上を図る。	朝の学習の時間の確保に努める。	①③	B	
		習熟度別授業やチームティーチングの授業の充実を図る。	④	B	
		各教科や各学年と協力し、成績不振生徒の減少に努める。	②	B	
		公開授業及び学習指導に関する研修会を実施し、授業に対する創意工夫を図る。	②	C	
	特色ある教育課程の編成と運営に努める。	生徒の実態に応じた教育課程の編成を検討する。	①	B	
		学習指導部や各学年との連携を図り、科・コース選択や選択教科のガイダンスが円滑に行われるようにする。	②	B	
	校内研修の充実を図る。	研修会や情報の共有化を図るための出張等報告会及び新旧学年の打合せを行う。	⑬	B	
		学校新聞(玉工通信)をさらに充実させ、地域や近隣中学校への広報活動に努める。	⑯	A	
	広報活動の充実を図る。	中学校教員および中学生対象の学校見学会をさらに充実させる。	⑯	B	
		中学生や保護者、地域を対象にした学校公開の充実を図り、開かれた学校づくりに努める。	⑯	B	
	校内諸データの整理に努める。	成績データを活用し、生徒の学習指導に役立てる。	⑬	B	
		校内の内規や資料を整理する。	⑬	B	
	校内情報の整理と管理に努める。	校内データを整理し、教職員が利用しやすい環境を整える。	⑬	B	
		個人情報の保護に努める。	⑬	B	
		学校Webページの内容を精選し、見やすく新鮮な情報の提供に努める。	⑬	B	
	校内ネットワークの充実を図る。	教職員及び生徒が利用しやすいネットワーク環境の構築及び運営に努める。	⑬	B	
		校内ネットワークの整備に努める。	⑬	B	
		教職員及び生徒のネットワーク利用の研修を計画し、実施する。	⑬	C	
教育情報ネットワークの活用と連携に努める。	教育情報ネットワークの適切な活用のための利用を支援する。	⑬	C		
	学校代表電子メールの定期的な確認及び報告に努める。	⑬	B		
生徒指導	基本的生活習慣を身につけさせる。	生徒の現状に対応できるよう、内規の見直しを継続する。	⑦	B	
		学校生活全般を通じて、集団や社会の中での自分の役割を自覚し、ルールを守る大切さ、自己責任の重要性を自覚させる。	⑦	B	
		服装・頭髪・化粧・挨拶などについて、全職員が、いつでも、どこでも指導するように共通理解を図る。	⑥⑦	C	
		頭髪・服装・化粧指導について、各学年主任と生徒指導部との打ち合わせを定期的に行い学年間の差をなくす。	⑧⑯	C	
		個人用遅刻カードをつくり、遅回数に応じた段階的指導を行い、遅刻の減少を目指す。	⑤	B	
		合格者説明会の際に、保護者に対して学校の指導に理解を求め、頭髪等の指導を行う。	⑥⑦	A	
	交通安全教育を推進し、交通事故件数を減らす。	長期休業中の出校日に、頭髪、服装、家庭での過ごし方についての指導の継続を図る。	⑥⑦⑨	B	
		HJR指導や外部講師による講話、バイク実技講習会、立哨指導等の実施によって交通安全教育を充実させる。	⑨	B	
		家庭の協力をより強める為、普通車免許取得に対して、教習所入所届けを提出させる。	⑨	A	
		交通事故の未然防止と規則遵守を励行させる。	⑨	B	
問題行動の未然防止に努める。	保健厚生部と連携し、薬物乱用防止や性教育、男女別集会の講話を実施する。	⑦	A		
	警察や中学校・他校との連携を深め情報交換を密にする	⑯	B		
	中学校訪問を入学前に行い、情報収集に役立てる。	⑧⑬⑮	A		
	家庭との連携を密にするため、電話連絡や家庭訪問、保護者面談を適宜行う。	⑧⑯	A		
		カウンセリング研修会などを計画実施することで、すべての教員がカウンセリングマインドに基づく態度や技能を身につけ、生徒との信頼関係を築くため、特別支援委員会と連携をとる。	⑬	C	

※評価基準 A：十分達成できている、B：達成できている、C：概ね達成できている、D：不十分である、E：できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
進路指導	主体的な職業選択能力の育成を目指す。	自らの能力・適正に応じた進路目標を早期に持たせることにより自発性を喚起させる。	⑪ B	A	<ul style="list-style-type: none"> 読み書き、簡単な計算等の基礎学力の充実が必要である。 低学年からの履歴書作成の指導(ペン習字、資格、作文)を検討する。 キャリア教育の充実(求人票の見方、工場見学等を含む)をめざす。 進学者の卒業後の進路を調査し、生徒の進路指導に活かす。 進路情報の保護者・地域への発信を行う。
		外部講師(卒業生、技能五輪出場選手、職業安定所講師等)を招き、講話を実施する。	⑩⑪ A		
		早期の企業見学、応募前企業見学、インターンシップを実施する。	⑥⑩⑪ A		
	組織的な進路指導を行う。	企業・大学訪問を実施し、情報を収集すると共に進路先の確保に努める。	⑪ A		
		大学進学希望者に対する勉学意識の高揚を図る。	⑩ A		
面接指導を通じて自分の考えや意見の交換をし、コミュニケーション能力の育成を図る。	⑦ B				
学習指導	基礎学力の向上に努める	朝の学習・読書の時間を有効に活用する。	③ B	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝の読書の時間を有効に活用する。 昼休みと放課後の常時開館をめざす。 図書館資料の貸し出しの増加を目指す。 進学課外ならびに資格取得講座を積極的に生徒にアピールし、参加生徒を増やす。
		各学年実施の「確認テスト」を活用し、学年主体で不振者への指導を行う。	①③ B		
	図書館の利用を促進する	昼休みと放課後の常時開館をめざす。	⑦ B		
		生徒向け図書を増やし、図書資料貸し出し数の増加を目指す。	③⑪ B		
		図書委員会を活性化し、ミニ館報の発行やお薦めの本の紹介を行う。	⑮ B		
	7時間目を有効活用する	進学課外ならびに資格取得講座を積極的に生徒にアピールし、参加生徒を増やす。	④⑩ A		
		基礎学力の低い者に対し、学年と連携し補講を計画する。	①④ C		
保健厚生	校舎内外の環境美化の意識を高める。	清掃方法や清掃用具の使用方法を徹底させる。	⑭ B	B	<ul style="list-style-type: none"> 清掃方法の徹底について検討する。 安全点検の実施時期と回数、および点検方法を検討する。 校外清掃のゴミ処理について、事前に市との協力体制の確認を行う。 食育に関して、保健便り以外での啓発について検討する。
		ゴミの分別を徹底させる。	⑦ B		
		保健委員会の活動を充実させ指導を徹底する。	⑮ B		
	健全な生活習慣づくりに努める。	食育に関心をもたせ、望ましい食生活について啓発する。	⑧ C		
	防災意識を高める。	避難訓練を効果的に行う。	⑧ B		
保健室の利用を徹底させる。	適正な利用方法を維持する。	⑦ A			
渉外	PTA活動を活発にする。	PTA諸行事への参加者をふやすために興味関心のある教育的行事を企画する。	⑫⑰ B	B	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会の出席率があがるような企画を検討する。 PTA球技会やPTA研修旅行の内容を検討する。
		マナーアップ活動を積極的に行う。	⑨⑯⑰ B		
		保護者・住民圏・教職員間のコミュニケーションをとり、お互いの信頼感を高める。	⑰⑯⑳ B		
	生徒の校内外の安全確保	チャーターバスによる安全通学の確保。	⑧⑰ B		
祭礼などの校外巡視を通して、生徒の健全な生活の確保に努める。		⑧⑰ B			
特別活動	学校行事を充実させる。	保護者や地域の参加・協力を得て、体育祭やクラスマッチなど実施し、地域との交流を図ると共に、生徒の豊かな心の育成やクラスの友和を図る。	⑫ A	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事に関しては、早めに計画し実施する。 各部活動の加入率を上げるとともに活性化に努める。 生徒会活動については、朝の挨拶運動に加えて他の活動も活発に行う。
	部活動を活性化させる。	新入生の部活加入を積極的に呼び掛けるとともに、在校生の継続率を上げ、部活動の活性化に努める。	⑬ C		
	奉仕活動を充実させる。	ボランティアを活性化させ、各種ボランティア行事への積極的な参加を図る。	⑭ C		
	広報活動を充実させる。	地域の幼稚園児や老人ホーム施設等との積極的な交流を図り、地域への広報活動に努める。	⑯ B		
	生徒会活動を活発にする。	生徒会や各種委員会の学校行事への積極的な参加の機会を設け、活発な委員会の実現を図る。	⑮ B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
学年	第1学年	基礎学力の向上を目指す。	授業への積極的参加と家庭学習時間の確保。	①②④ B	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む姿勢は改善されつつあるが、まだ改善の余地があるので継続指導をする。 基礎学力のさらなる向上を目指し、進路実現に対する意識を高めさせるために学年の計画をしっかりと立てて行う。 基本的なマナーを身につけさせるために、第一歩であるあいさつをなお一層指導をする。
			出席率90%以上を目指し、授業に取り組む姿勢を身につけさせ、基礎・基本の定着を図る。	①⑤ A	
			道徳をとおして、読む力を養う。	③ B	
			問題集を活用し、定期的に小テストを実施する。	① B	
		基本的生活習慣を養う。	服装・頭髪検査、校内巡視を定期的に行い、高校生らしい身だしなみを整えさせる。	⑥⑦ A	
			頭髪指導の再検査者20%以下を目指す。	⑥⑦ B	
			個人面談を積極的に行い、生活状況の把握に努め、家庭訪問等で家庭との連絡を密にする。	⑤⑥⑧ A	
			学年集会等を通じて積極的な挨拶の励行を促す。	⑤⑦ A	
		進路目標の早期発見を目指す。	道徳・HR・朝読を利用して、思いやり・やさしさの心を育む。	⑦ B	
			面談指導、進路ガイダンス、保護者との連携等を通して、進路の早期決定を手助けする。	⑩⑪ B	
			進路指導部との連携を深め、生徒一人一人に合ったきめ細かい進路指導を心掛ける。	⑩⑪ B	
			進路希望達成の為に情報収集に努める。	⑩⑪ B	
	第2学年	学力の向上を目指す	部活動加入率を高め、団体組織での集団活動の意義を培う。	⑦⑩⑬ C	
			生徒の現状を的確に把握することに努める。	① A	
			調査前の補充学習を計画的に実施する。	①② A	
朝読・SHR・LHRを有効に活用する。			③ C		
生活習慣の確立を目指す		資格試験への積極的姿勢を培う。	④⑩ C		
		欠席・遅刻・早退の防止に努める。	⑤ C		
		個別面談等を積極的に実施し、個に応じた指導方法を探る。	① C		
		保護者との連携に積極的に取り組む。	⑧ B		
		生徒指導部と連携し、交通事故の未然防止・遵法心の向上を目指す。	⑨ B		
		クラスへの帰属意識の向上を目指し、学校行事への積極的参加を促す。	⑫ B		
進路に対する意識向上を図る		他者を思いやる気持ちを育てる。	⑦ B		
		家庭環境・友人関係の把握に努める。	⑧① B		
	「面接」と結びつく身だしなみを意識させる。	⑥⑦ C			
	情報の提供に努め、進路選択に役立てる。	⑩⑪ C			
第3学年	基本的生活習慣のさらなる確立に努める。	進路希望状況等を的確に把握する。	⑩⑪ B		
		適性検査等の実施を通じ、進路に対する意識向上を図る。	⑩⑪ B		
		3年生としての自覚を持たせ、欠席・遅刻・早退が減少するよう指導する。	⑤ B		
	ミックスホームルームの対応策の検討を継続する	社会人として通用する「身なり」・「言葉づかい」ができるようにする。	⑥⑦⑩ C		
		生徒指導部と連携し、学校内外における規範意識の向上を目指す。	⑦ C		
		ミックスホームルームの利点を伸ばし、欠点を補うホームルーム経営を目指す。	⑫ B		
	学力の向上に努める。	普段のホームルームや行事等をおし、集団への帰属意識を高める。	⑫⑬⑮ B		
		計画的なロングホームルームを実施する。	⑫ B		
		朝の学習の時間を有効に活用し、学力の定着と向上を図る。	①③ B		
	進路希望を実現できるような指導する。	定期考査・進学対策の学習・補習を計画的に実施する。	①② C		
		進路指導部と連携し、進路対策の充実を図る。	⑩⑪ A		
		計画的、定期的に面接指導や履歴書の書き方等の指導を行う。	⑩ A		
基礎ドリルや問題集で学力をつけると同時に、適性検査や模擬試験等で自己理解を深めさせる。	基礎ドリルや問題集で学力をつけると同時に、適性検査や模擬試験等で自己理解を深めさせる。	①⑩ B			
	「進路用ファイル」を持たせ、有効的に活用する。	⑩⑪ B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「朝読」の時間の有効的活用を継続して検討する。 学校内外の活動を、全て進路に結びつけ指導をする。また、内定後の生活を充実させる指導に努める。 「ひと」としての成長を援助することが出来る学校生活をめざす。 社会人として認められる基礎学力・言葉遣い等を身につけさせる指導を継続する。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 朝の基礎学力向上の時間は、生徒の力にかなり差があるのでやり方が難しい。 成績優秀な生徒が難しい会社を受験して失敗し、その後なかなか決まらないというケースがあった。本当の力を把握するためにも、就職模擬試験などの実施について検討する。 	

※評価基準 A：十分達成できている、B：達成できている、C：概ね達成できている、D：不十分である、E：できていない